

2021年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
実習・演習 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	小林彰、丸山由美、蓑輪直子			実務経験	有	職種	エンジニア				
授業概要											
この科目を受講する学生は、音響職の様々な分野（音楽・テレビ・ラジオ・PA)の基礎技術を学び、これらの仕事を理解し将来自分の進むべき方向性を見極めることを目的とする。また、将来自分の専門分野の領域を超えた仕事や、他分野との連携で仕事にも対応できるような人材の育成を目指す。更に音響業界必須の礼儀作法については重点項目とし、始業および就業の挨拶はもとより身だしなみや普段の言葉づかいなどは厳しく教育する。											
到達目標											
この科目では、まずは挨拶が出来るようになること、メモを取る癖を身に付けることを必須とし、その上で音響業界に共通する基本的な知識・技術を身に付けること、スタジオと言う場所の構造や運用ルールを身に付けることを目標とする。また、スタジオワークにおいてはグループでの行動が主となるため、コミュニケーション能力はもとより自分で考えて行動できるような人材づくりを目指す。											
授業方法											
この授業は、他の講義科目と連携することにより、講義部分をできるだけ簡略化し、主に機器の操作を学びます。スタジオ機器の基本的運用法を身に付けられるよう全員機材の操作を行うようにし、複雑な操作となる場合には反復的に学習する機会を持つ。またオンデマンドでの講義動画も並行して作成していくことで、学生が復習しやすい体制を整える。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	実技試験をもって評価をする 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、挨拶をはじめとする学生間・教員と学生のコミュニケーションが最も重要となる。グループで仕事を進めるにおいて、特に支障となる遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については単位を与えない。社会への移行を前提とした受講マナー、服装、言葉遣いで授業に参加することを求める。											
教科書教材											
授業時に適宜資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	半田付けとケーブル巻き：キャノンコネクターのハンダ付け方法の習得とケーブルををきれいに巻けるようになる										
第2回	マイクロホン１：マイクロホンの種類と特性、構造についての理解										
第3回	マイクロホン２：マイクロホンの指向性による音の聞き比べとヘッドアンプの調整法の習得										
第4回	パッチシステム：パッチの構造理解と音の立ち上げ方の実践										
第5回	マイクロホンセッティング：ナレーション収録におけるマイクロホンのセッティング法の習得										
第6回	ミキシングコンソール１：RECステータスでの信号の流れを理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
実習・演習 1	
第7回	ミキシングコンソール 2 : MIXステータスでの信号の流れを理解する
第8回	P A システム 1 : 小型のミキサーでのシステム構築 (マイク、C Dからの音出し)
第9回	P A システム 2 : 大型のミキサーでのシステム構築 (A U X回線を使用してのリバープ付加)
第10回	音楽録音実習 1 : マイクロホンアレンジと C U E システムのセッティングの実践
第11回	音楽録音実習 2 : 現代音楽の収録の実践 サウンドチェック～収録～ 2 chミックスの作成
第12回	MA作品の制作実習 1 : 台詞の収録と効果音の収録方法の習得
第13回	MA作品の制作実習 2 : 音楽の付け方と編集、ミキシング法の理解
第14回	ラジオ番組の制作実習 1 : 本番の流れを知る 機材の使用法、ディレクション法の習得
第15回	ラジオ番組の制作実習 2 : ミニ番組制作実践 台本の作り方の習得